

四十組之記

鳥

| | | | | |
|-----|-----|-----|------|-----|
| 望月香 | 名月香 | 月見香 | 女郎花香 | 千種香 |
| 落葉香 | 時雨香 | 龍田香 | 菊合香 | 野分香 |

| |
|------|
| 多 |
| 1398 |
| 28 |



門 9
番 13
卷 28



四十組之内 鳥

千種香

野分香

女席花香

菊合香

月見香

龍田香

名月香

時雨香

望月香

落葉香

空月香

茶葉香

友月香

報雨香

月長香

踏田香

百有六香

蔭合香

千鷲香

櫻台香

四十餘之内



後水尾院様勅作

千種香

香三種

香一の香 二包徳月一包試

香二の香 三包徳無試

香三の香 右同り

右試焼く二二三の香ニ包つ六包は一の香
一包加へ七包すして廿文焼出さへ二三の
香ハ十柱香の如くを試はれ打魚一何れも
初の香と二〜後の香と三〜してれ打魚
焼くの人よ香一香と書魚一一の香高し

外々残の包の上の向斗書一一の香
〜外斗高〜下の向斗書魚一
又一の香高〜外一程も不高〜
上の向斗書魚一香たの〜

みよあまのいづつ年を春ハス
秋ハス〜の花を〜

其外池の面を流す河考なる事

千種香之記

千種香之記
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

名札
二
三
一
二
三

名札
二
三
二
三
一

月日

出香 芳名

秋の色の花をみる五

秋の色の花をみる全

記録先下准とる

香六種

女郎花香

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

凡日

十種香

香六種

香六種

香六種

香六種

香六種

女郎花香

香六種

お

二包

み

古

ふ

右

へ

右同所

え

右同所

お

一包徳世威

右試飲く出香おふへへの五種内一包

六各香入二包ごとくお文焼出より多し

竹香目より出るとすてその五句金

其句と書附ゆき記添る本香の所

歌一書その出香の品より出て其一句は

くはははのすしと南ととくははと

合点とて出香不後考て書ゆまなり

名目は合お後ちのし南のまきと又和
名目も高しよ春のち後合の春の高しよ
あし木香よ各のふまの其出る一句の
服書多し始よ右よ其後出るとい
たよ書りし枕記の表よ終る考多し

歌たのし

小倉山よあしちりし
あしちりし秋をきくそらき

記取たのし

枕記の表

あしちりし

名月...
おみ

女部花香記
若

小倉山...
おみ

名...
列...
叶

名...
一

月日元香
出香 名集

香二種

記...
四包...
一

三包...
一

試...
一

月見香

香二種

月見香 四包 徳内一包 試

客々々々 三包 徳内試

右試考々 出魚二包 中支内 三包 文短 出考

月見香 四包 徳内一包 試
客々々々 三包 徳内試
出魚二包 中支内 三包 文短 出考

紙子書附出を魚りし各月左の通り也

月月月とすハ十五夜とす

月月月とすハ 待宵とす

ウ月月とすハ 十六夜とす

月ウ月とすハ 夕月夜とす

ウウ月とすハ 残月とす

月ウ月とすハ 氷上月とす

ウ月ウとすハ 木間の月とす

真不モウウウとすハ 雨夜とす

其外まらりの節を待てるものなり

然るにや月を待てるものなり

月見香云記 葉

月月ウ

夕月夜 二

名 御所 叶

月日 出香名集

香二種

まらりの節を待てるものなり

然るにや月を待てるものなり

古法に於て出香の色は又注し

其年まゝの面を焼く香丸

月

月

名

名

香丸

名 月香

香二種

月香 二色徳内百試

月香 二色徳内百試

古法焼く出香二色打交焼出香

試み合右乗舟の書附出まへし右二包の
内一包取すも有つて附出まへし
記録たの如し

香二部

月一

名月香之記
ウ

名 月 月 香

名 外

月 日

出香 右乗

記録之噴まへし

新刊... 右云

月一色... 右云

流... 右云

... 右云

... 右云

望月香

香四種... 右云

... 右云

... 右云

... 右云

巻として 一巻徳平試

右初一の巻二包二の巻二包三の巻二包都
合六包大打交物おまふりたたのり
詰合さくお交物おまふり名目合て巻
清書附おまふり

一二の巻と 逢坂書

二三の巻と 関の清書

三一の巻と 就是て書

右中ぬり一ニ三ニ包清りなるとおまふり

内が一包は巻書おまふり二包物おまふり

二三の内と答ふれん今や月とんとき答へ
二三の内と答ふれん今や月とんとき答へ
と書答をを月の約二句と書し
此の面とく能くうまうたの

一五の月と答ふれん今や月とんとき答へ

名 或夜の月清夜一とて
今月の約二

名 或夜の月清夜一とて
今月の約二

名 或夜の月清夜一とて
今月の約二

右袖三結いの香の二色つてゐて打き入結い合
角一止三結いの角有り有る之傍に
書附ま角一後の一二この香は傍に
下ま書附ま之双角二点片角
一点角為記録右の順ま角

野合香

香四粒

野合香の香は二色は徳内百感

ノ香は二色は徳内百感

野合香の香は二色は徳内百感

右袖三結の香ハ二をアハ入
一五より右結公下南ノ有
一五より右結公下南ノ有
一五より右結公下南ノ有
一五より右結公下南ノ有
一五より右結公下南ノ有

野分香

香四種

野分香ハ右ノ合五包
徳内百試同

右ノ合五包
徳内百試同

明石

右同以

仲秋

二色徳兵衛

右試飲しく出香一色
打交内は二色取迄
しく惣書を金一試
金れは金可名同
たの

全四双の南

野分

三双の南

夕暮

二双の南

明石

一雙の南

刈萱

片南

村雲

五字の南

村百

行紀の面々終つて考たのそ

野分香と記

夕野 明 野 野

明 野 野

札

夕 明 野 野

夕 野 全

札

夕 明 野 野

夕 野 全

月日香

出香名乗

記録之ノ順も多ク

代記の由を述べた後、
考へたものなり

山梨の山梨香
野合香
山梨香

北の山梨香
北の山梨香
北の山梨香

菊合香

香二種

林風香
四包、徳内一包試

白柔香
二包、徳内一包試

右試焼く、出香六包、
其内より二包云々

四色と煙を多しし字はくして名を成す
書附を多しし江原の下より二種の文出さる
時名目ありきらくの下より本巻の下と煙を
づの下の平よりたのしし

秋風多し出さる
波と平

白と赤を多しし

両行つとせし
葉と平

右のしし之本巻を歌一巻をまて出さるの
次巻よりくたさるの秋風白糸秋風秋風

ワザル山あり

秋風の吹よほける土々木々

秋風の吹よほける土々木々

右本香の南より今迄下り記録如左

秋風

白菊

菊今香之記

秋風の吹よほける 白菊

花のあはれは

名 秋風 白菊 秋風 秋風 一

名 白菊 秋風 秋風 白菊 菊今

月日 右出香 名々

記録先下准生魚

五洲藥房出品

本藥房出品

本藥房出品

本藥房出品

本藥房出品

龍田香

香四種

一、二、三、四

右同所

三、四

茶

一色徳文試

右十種の内より一色二色三色都合
六包一茶一包と加へ七包して打交雑出
す紙を試十種の如く二種つきの法を以て
はる厚しは決りくゝ名を以てしす所を以てし

一二三各一各同ありたるのみ

一の香と

立田山

二の香と

紅葉

三の香と

青盤

各香と

唐錦

右名多我な徳仙丈一二三の二種ハ二三
の又字とてまゝ年一各の唐錦とまゝ年一右七
包はうと海に種の内お交一包は徳玉
まゝ年一おはうと始七種の内竹香月
中ハたとへ七種の内始の一香月と七香月

中ハ七試一のみと一香一七香の
立田山と書又二と竹香と一次の香二
おまふと書又其以二所と書ハ香盤と書
おはうと書一様と名目ありたの如し

始二種立田山と海一種同香と書ハ
時のと書

始二種はよく一様同多ある 雲と書

如二種はよく一様同多ある 色と書

右後の二種は始七種より内二種は同多とす

て中候は各月ありたのこころは各書に依

り始立田山はよく各終書に依りて中候に

三種のありん 秋風と書

二種のありん 秋の山と書

各年のありん 色と書

右角りの各月のたの秋の書きを各付す。

しよのあり

秋の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

大江山の夕霞さうく 野に止る

くまの川への舟一舟書金一記尿

たのし

龍田香上記

二二一ウ三二

名 一^二二^三三^四 秋風全

名 一^二二^三三^四 秋山二

かきと田山今より

香月日 出書名乗

江原光の腹を

けりしと余り坊の友より印

Handwritten notes in cursive script, including the characters '山' and '香'.

山の時雨香

今香五種

Handwritten text in cursive script, likely describing the types of incense.

Handwritten text in cursive script, continuing the list or description.

右の歌と定座の... 五向と切て絶る

五種共々各二包にて

内一包にて試す

右試すべく出香五包打交桂香金一試

合名高林・出附香・其外香の

折記の面々・能く了る・たの

時の香

木の香

木の香

木の香

月日

出香

叶

又一箇、試香、決りて、出香、五包、封文、内より
一包、外、四包、と、時、分、より、今、一、種、出、加
す、の、有、は、式、なり、一、つ、と、共、用、也、なり、

本の香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり
香のなり

名 為のきり 刺のなり 一

名 香のなり 木のなり 叶

月日 出香 名乗

記録先 腹のなり

五刺多... 廣... 今一...

一... 今一...

... 今一...

... 今一...

... 今一...

義仁志野炭木香香

香三種

雲... 大包...

嵐... 小包...

各... 小包...

右初は雲三包 嵐二包 花文すなへ三種
二種より分つ魚一板 板焼く六包の肉と一包
ゆき各香一包とかく六包とすなへ
雲三種 出たの下はすなへ
嵐三種 出たの記の魚子とすなへ 各

南の人の湯のつきの下はすなへ
と位の中中候より全の人のる屋敷
書より 分たのみ
すなへ 雲の嵐のすなへ

すなへ 雲の嵐のすなへ

十号のき味... 紀よりの... 表
く... 左の...

落葉香子記

名

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

名

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

嵐

... ..

月日

出考 名乗

... ..

Handwritten text in a cursive script, possibly a list or notes.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

Handwritten text, possibly a date or a specific entry.

